



Let's soroban

そろばんは頭をよくする魔法の道具。

'23 夏休み 競技大会!



8月8日(ソロバンの日)、高見教室にて夏休み競技大会を実施しました。当日はAグループとBグループあわせて30名の生徒が集まり、参加者はみんなこれまで見たことのないような真剣な顔つきで珠算競技に、その後、わあ〜ぎゃあ〜と近所迷惑が気になるほどシャウトしながらのピンゴゲームに…それぞれ一生懸命に挑みました。

さて今更なのですが、ふと考えると競技大会と検定試験はソロバンというツールを活用する点は同じですが、実際は多くの点で異なります。ポイントをまとめてみると… ◆検定試験…自分の受験するそれぞれの級位や段位に向けた練習を重ねて、検定当日に臨む。時間は1種目7分間。数日後、合格・不合格の結果発表。◆競技大会…同じ会場にいる参加者がみな一斉に同じ問題に取り組み、その場で採点。1種目4〜5分間。競技終了後に採点結果発表。

出題される問題も、検定は各級位のレベルに統一されますが、競技大会がふつうは易しい問題から少しずつレベルが上がっていく形式となります。また、検定は受験者全員がすべて合格するというケースは十分にあり得ますが、一方の競技大会は全員が入賞することは絶対にあり得ません。それぞれに特徴があって面白いのですが、スポーツに例えると検定試験は目標に向かって延々と走り続けるマラソン、競技大会はその時点での瞬発力とか、反射神経を鍛える短距離走と言えるのかも知れません。



今回、入賞できた人も出来なかった人も、本当にみなベストを尽くして競技に挑んでいました。そのことには疑いの余地はなく、普段から観察している先生が一番分かっています。参加者は学年や級位は違いますし、そろばんを始めた時期も教室に通っている月数もみんなバラバラですから、他の生徒との順位争いに一喜一憂するのではなく、過去の自分をライバルにして競技に挑むという姿勢が良いですよ。その意味では当日の本番で練習を上回る最高点を出した生徒は仮に入賞していなくてもとても立派で〜す!

Aグループ 総合競技

Bグループ 総合競技

Bグループ 読上げ競技

順位	学年	名前
優勝	4年生	石黒 惺 羅
準優勝	4年生	影山 琴
3位-1	4年生	藤原 羽 菜
3位-2	4年生	黒瀬 実 花子
3位-3	5年生	佐野 陽 規
3位-4	3年生	中末 結 花

順位	学年	名前
優勝	6年生	林 亜 蓮
準優勝-1	5年生	首藤 菜 仁
準優勝-2	6年生	伊藤 彩 羽
3位-1	中学1年生	伊東 大 輝
3位-2	5年生	原田 龍 晟
3位-3	6年生	杉石 美 心
3位-4	6年生	北國 彦 彦
3位-5	4年生	鈴木 桃 寧

順位	学年	名前	得点
優勝	6年生	林 亜 蓮	405
準優勝	中学1年生	伊東 大 輝	978
準優勝	5年生	首藤 菜 仁	-713
3位-1	5年生	原田 龍 晟	190
3位-1	6年生	杉石 美 心	583
3位-3	6年生	伊藤 彩 羽	-806
3位-4	4年生	鈴木 桃 寧	-307
3位-5	5年生	長谷川 瑚 桃	845
			324
			684
			2,183

左は今回の読上げ算・暗算で出題した10番目の問題。これが暗算でスラスラできるレベルを目指しましょう。



Bグループでは、読上げ算に挑戦! 暗算、そろばん、英語の各10問ずつの計30問でしたが、優勝の林亜蓮くんはみごと全問正解でした!

今後の競技(予定)

10月29日 秋の読上げ算大会
12月3日 冬の競技大会